

國學院大學学術情報リポジトリ

第116号総目録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: [國學院大學総合企画部広報課] メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/138

第 116 巻総目録

[分類索引]

総記

博物館

音楽家顕彰活動における博物館の関わり

—秋田県出身の流行歌手・東海林太郎と上原敏の事例を中心に—

井 上 裕 太 116-5

戦前期の児童博物館思想

中 島 金太郎 116-12

宗教

台南道教の開光儀について

浅 野 春 二 116-2

ポップカルチャーと宗教序論

(特集 現代日本社会と宗教)

石 井 研 士 116-11

現代宗教の侵襲的研究と宗教調査リテラシー

(特集 現代日本社会と宗教)

井 上 順 孝 116-11

日本のハロウィーン受容—カワサキハロウィン 2014 の実態調査から—

(特集 現代日本社会と宗教)

大久保 衣 純 116-11

マス・メディアのまなざしと自己表象の再編

—「自文化」としての〈恐山信仰〉をめぐる—

(特集 現代日本社会と宗教)

大 道 晴 香 116-11

神と出会う・神を描く—ポップカルチャーにみる伝統と現代—

(特集 現代日本社会と宗教)

平 藤 喜久子 116-11

携帯電話に於ける怪異の一考察—『着信アリ』を事例として—

(特集 現代日本社会と宗教)

古 山 美 佳 116-11

雑誌記事における明治神宮・清正井のパワースポット化の過程

(特集 現代日本社会と宗教)

大 和 友大朗 116-11

神道

律令制の成立と祭祀—出雲神郡の成立を中心に—

小 林 宣 彦 116-9

都市祭りの経年的変化—戦後の地域社会の変容と神田祭五〇年の盛衰—

(特集 現代日本社会と宗教)

秋 野 淳 一 116-11

東日本大震災におけるコミュニティ復興と神社—宮城県気仙沼市の事例から—

(特集 現代日本社会と宗教)

黒 崎 浩 行 116-11

現代の厄年の実態と変遷—大阪の神社調査から—

(特集 現代日本社会と宗教)

田 口 祐 子 116-11

神と出会う・神を描く—ポップカルチャーにみる伝統と現代—

(特集 現代日本社会と宗教)

平 藤 喜久子 116-11

制度化過程の初期新宗教—金光教の布教論に着目して—

(特集 現代日本社会と宗教) 藤 井 麻 央 116-11

過疎地域の神社神道の現状と課題—高知県の過疎集落神社を事例に—

(特集 現代日本社会と宗教) 冬 月 律 116-11

歴史

日本史

[古代]

『万葉集』と日本古代大陸移民—「東亜交往民」の概念提起について—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

王 凱 116-1

大と太、小と少—養老職員令に探る—

嵐 義 人 116-4

神道の原像—日本文化の基層—

上 田 正 昭 116-6

律令制の成立と祭祀—出雲神郡の成立を中心に—

小 林 宣 彦 116-9

[中世]

文禄・慶長期における宇喜多氏家臣団の構造

—分限帳の分析から見る重臣層の負担—

寺 尾 克 成 116-3

戦国期東国の用水普請と郷中談合—武蔵・甲斐・下総・陸奥の事例に関して—

高 橋 裕 文 116-5

社会科学

社会

現代宗教の侵襲的研究と宗教調査リテラシー

(特集 現代日本社会と宗教)

井 上 順 孝 116-11

日本のハロウィーン受容—カワサキハロウィン 2014 の実態調査から—

(特集 現代日本社会と宗教)

大久保 衣 純 116-11

東日本大震災におけるコミュニティ復興と神社—宮城県気仙沼市の事例から—

(特集 現代日本社会と宗教)

黒 崎 浩 行 116-11

オウム真理教をめぐるメディア言説—1989 年 10 月のワイドショー—

(特集 現代日本社会と宗教)

菅 直 子 116-11

雑誌記事における明治神宮・清正井のパワースポット化の過程

(特集 現代日本社会と宗教)

大 和 友大朗 116-11

教育

古典教育の現在性

高 橋 大 助 116-6

風俗習慣・民俗学・民族学

民俗のサクラと万葉のサクラと

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

大石泰夫 116-1

儀礼における歌書の読誦—湖南省藍山県ヤオ族還家愿儀礼に行なわれる歌問答—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

廣田律子 116-1

台南道教の開光儀について

浅野春二 116-2

「節分の巻寿司(恵方巻)行事」から見る年中行事の現在

—恵方を向いてまるかぶれ・ふたたび—

飯倉義之 116-5

ふいご祭りの伝承とその重層性について—祭日・祭神・供物を中心に—

黒田迪子 116-8

西行と遊行聖—熊本県小国町の西行伝説を中心に—

花部英雄 116-8

中国寧波市周辺の獅子舞

李広志 116-8

大石泰夫

都市祭りの経年的変化—戦後の地域社会の変容と神田祭五〇年の盛衰—

(特集 現代日本社会と宗教)

秋野淳一 116-11

マス・メディアのまなざしと自己表象の再編

—「自文化」としての<恐山信仰>をめぐる—

(特集 現代日本社会と宗教)

大道晴香 116-11

芸術・美術

鯨絵と板元(学生懸賞論文)

石隈聡美 116-7

絵画・書道

日本美術における「美人画」の展開—「飛鳥美人」から江戸の幽霊画まで—

藤澤紫 116-3

日蓮真蹟遺文における表記—「ん」を中心に—

堀川宗一郎 116-4

『グラフィティの信念』を巡る匿名性と記名性の相克

上石田麗子 116-7

ヘンリー・フュースリの「詩的模倣」における感情表現

松下哲也 116-7

版画

日本美術における「美人画」の展開—「飛鳥美人」から江戸の幽霊画まで—

藤澤紫 116-3

鯨絵と板元(学生懸賞論文)

石隈聡美 116-7

音楽・舞踊

イメージの解放—ヴァーグナー《さまよえるオランダ人》における肖像の問題—

長屋晃一 116-8

言語

日本語

- 現代版「絵文字」とその機能 尾 山 慎 116-2
- 形容詞被覆形ムナ〔空〕・露出形ムナシ〔空〕による名詞複合用法の通時的変遷
蜂 矢 真 弓 116-3
- 「聞く」の推定用法—今昔物語集を中心に— 近 藤 政 行 116-4
- 日蓮真蹟遺文における表記—「ん」を中心に— 堀 川 宗一郎 116-4
- 『源氏物語』の動詞「す」の読解—ヲ格+ニ格+「す」構文への注目—
中 村 幸 弘 116-6
- 「一見反対語」を考える～「出る・入る」を例として～ 日 高 貢一郎 116-8
- 格助詞の後ろに付くウチナーヤマトゥグチ「ガ」の用法
—石垣市方言を具体例に—（学生懸賞論文） 座 安 浩 史 116-9
- 「御覧ず」の関係規定性—源氏物語における— 高 桑 恵 子 116-9
- 例示の副助詞「など」によって起用された補助動詞「す」について
中 村 幸 弘 116-12
- 連体助詞ナ形骸化 蜂 矢 真 弓 116-12
- 中国語・その他の東洋の諸言語
- ナシ族のトンバ經典に見られる語気助詞について 黒 澤 直 道 116-10

文学

日本文学

- 醜女・産女・橋姫の考察 山 岡 敬 和 116-2
- 中世文学の風景—宗祇・実隆を視座として— 関 根 賢 司 116-7
- 『源氏物語』「陽成院の御笛」考—准拠とそのもたらすもの—
（学生懸賞論文） 山 本 夏 希 116-9

詩歌

〔古代〕

- 道行の挽歌史—万葉集卷三理願挽歌の「晩闇跡」に及ぶ—
（創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—（二））
居 駒 永 幸 116-1
- 「飛鳥 明日香」—異文化をどう和化したか—
（創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—（二））
井 上 さやか 116-1
- 民俗のサクラと万葉のサクラと
（創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—（二））
大 石 泰 夫 116-1

『万葉集』と日本古代大陸移民—「東亜交往民」の概念提起について—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

王 凱 116-1

山上憶良晩年の三部作における〈言志〉

—「沈痾自哀文」「悲歎俗道假合即離易去難留詩一首并序」「老身重病經年辛苦及思兒歌七首」における自己—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

小 川 靖 彦 116-1

『万葉集』の渡来系氏族—梅花宴を例として—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

梶 川 信 行 116-1

『河海抄』にみる「万葉学」—漢語・漢籍との関係を中心に—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

河 野 貴美子 116-1

『万葉集』の桃花と中国文学—大伴家持の「桃李花の歌」の形成—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

鈴 木 道 代 116-1

万葉集と門前の歌—欄門の習俗との関わりから—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

曹 咏 梅 116-1

万葉集と楽府系歌辞—相聞歌から相聞四時歌へ—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

辰 巳 正 明 116-1

『万葉集』「泡沫」考

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

鉄 野 昌 弘 116-1

『万葉集』の食の歌の位置

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

寺 川 眞知夫 116-1

藤原宇合「悲不遇」詩の論—藤原宇合の賢者論—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))

土 佐 朋 子 116-1

『赤人集』三系統の先後関係—『萬葉集』卷十抄本の変遷史—

池 原 陽 斉 116-10

小説・物語

[古代]

『日本霊異記』と『金剛般若経集験記』—經典の持つ「力」をめぐる—
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

山口敦史 116-1

姪洗なる慈母—『日本霊異記』下巻第十六縁考— 大塚千紗子 116-10

[中古]

『河海抄』にみる「万葉学」—漢語・漢籍との関係を中心に—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

河野貴美子 116-1

『源氏物語』の動詞「す」の読解—ヲ格+ニ格+「す」構文への注目—

中村幸弘 116-6

『源氏物語』「陽成院の御笛」考—准拠とそのもたらすもの—

(学生懸賞論文)

山本夏希 116-9

例示の副助詞「など」によって起用された補助動詞「す」について

中村幸弘 116-12

[近代以降]

携帯電話に於ける怪異の一考察—『着信アリ』を事例として—

(特集 現代日本社会と宗教)

古山美佳 116-11

漢詩文・日本漢文学

[古代]

山上憶良晩年の三部作における〈言志〉

—「沈痾自哀文」「悲歎俗道假合即離易去難留詩一首并序」「老身重病經年辛苦及
思兒歌七首」における自己—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

小川靖彦 116-1

万葉歌人の漢詩—安倍広庭「春日侍宴」をめぐる—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

高松寿夫 116-1

藤原宇合「悲不遇」詩の論—藤原宇合の賢者論—

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

土佐朋子 116-1

[近世]

葛西因是『通俗唐詩解』における寓意

小野泰央 116-9

浅見綱齋『楚辭師説』小考

石本道明 116-12

中国文学・その他の東洋文学

浅見綱齋『楚辭師説』小考

石本道明 116-12

研究ノート

佐久間象山「望岳賦」碑と妙法寺参詣道の変遷

寺 田 史 朗 116-2

資料紹介

折口信夫「万葉集絵物語」の未掲載稿

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—(二))

小 川 直 之 116-1

書評

橋本裕之著『舞台の上の文化～まつり・民俗芸能・博物館～』

菅 根 幸 裕 116-4

山崎かおり著『『古事記』大后伝承の研究』

寺 田 恵 子 116-4

辰巳正明監修、大谷歩、大塚千紗子、小野諒巳、加藤千絵美、神宮咲希、
鈴木道代、高橋俊之、室屋幸恵、森淳著『古事記歌謡注釈 歌謡の理論
から読み解く古代歌謡の全貌』

曹 咏 梅 116-5

金杉武司著『解釈主義の心の哲学：合理性の観点から』

塩 野 直 之 116-6

中村幸弘著『和歌構文論考』

碁 石 雅 利 116-8

三樹陽介著『首都圏方言アクセントの基礎的研究』

木 部 暢 子 116-9

鈴木道代著『大伴家持と中国文学』

井 上 さやか 116-10

高見寛孝著『巫女・シャーマンと神道文化 日中の比較と地域民族誌の視角から』

佐々木 伸 一 116-12

紹介

徳橋達典著『吉川神道思想の研究 吉川惟足の神代卷解釈をめぐる』

遠 藤 潤 116-2

花部英雄編著『雪国の女語り 佐藤ミヨキの昔話世界』

米 屋 陽 一 116-3

馬瀬良雄編集代表『長野方言辞典[特別版]』

久 野 眞 116-6

井上順孝編『21世紀の宗教研究—脳科学・進化生物学と宗教学の接点』

松 村 一 男 116-10

矢吹省司著『生きることに意味はない—「自己嫌悪」からの心理学—』

高 山 実 佐 116-12

談話室

気にかかる道德教育の行方

大和久 勝 116-2

M L A 連携緒論

安 達 匠 116-3

間伐体験が開く世界	柿 沼 秀 雄	116-4
イギリスの相棒たち	大 熊 光 子	116-5
時代は情報化社会？	林 利 久	116-6
「千の風」考	粟 田 義 彦	116-7
鳥の名前	矢 島 昂	116-8
「秀次事件」騒動、その後	矢 部 健太郎	116-9
全くわからない	土 佐 秀 里	116-10
夏の家	笠 間 直穂子	116-12

座談会

万葉集と隣接科学

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二)	
上 野 誠	116-1

万葉集と隣接科学

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二)	
大 石 泰 夫	116-1

万葉集と隣接科学

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二)	
小 川 直 之	116-1

万葉集と隣接科学

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二)	
菊 地 義 裕	116-1

万葉集と隣接科学

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二)	
曹 咏 梅	116-1

万葉集と隣接科学

(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二)	
(司会) 辰 巳 正 明	116-1

〔執筆者索引〕

秋 野 淳 一	都市祭りの経年的変化 —戦後の地域社会の変容と神田祭五〇年の盛衰— (特集 現代日本社会と宗教)	116-11
浅 野 春 二	台南道教の開光儀について	116-2
安 達 匠	MLA連携緒論 (談話室)	116-3
嵐 義 人	大と太、小と少—養老職員令に探る—	116-4
粟 田 義 彦	「千の風」考 (談話室)	116-7
飯 倉 義 之	「節分の巻寿司 (恵方巻) 行事」から見る年中行事の現在 —恵方を向いてまるかぶれ・ふたたび—	116-5
池 原 陽 斉	『赤人集』三系統の先後関係—『萬葉集』卷十抄本の変遷史—	116-10
居 駒 永 幸	道行の挽歌史—万葉集卷三理願挽歌の「晩闇跡」に及ぶ— (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116-1
石 井 研 士	ポップカルチャーと宗教序論 (特集 現代日本社会と宗教)	116-11
石 隈 聡 美	鯨絵と板元 (学生懸賞論文)	116-7
石 本 道 明	浅見綱齋『楚辭師説』小考	116-12
井 上 さやか	「飛鳥 明日香」—異文化をどう和化したか— (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116-1
井 上 さやか	鈴木道代著『大伴家持と中国文学』(書評)	116-10
井 上 順 孝	現代宗教の侵襲的研究と宗教調査リテラシー (特集 現代日本社会と宗教)	116-11
井 上 裕 太	音楽家顕彰活動における博物館の関わり —秋田県出身の流行歌手・東海林太郎と上原敏の事例を中心に—	116-5
上 田 正 昭	神道の原像—日本文化の基層—	116-6
上 野 誠	万葉集と隣接科学 (座談会) (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116-1
遠 藤 潤	徳橋達典著『吉川神道思想の研究吉川惟足の神代巻解釈をめ ぐって』(紹介)	116-2

- 王 凱 『万葉集』と日本古代大陸移民
—「東亜交往民」の概念提起について—
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 大 石 泰 夫 民俗のサクラと万葉のサクラと
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 大 石 泰 夫 万葉集と隣接科学 (座談会)
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 大久保 衣 純 日本のハロウィーン受容
—カワサキハロウィン 2014 の実態調査から—
(特集 現代日本社会と宗教) 116-11
- 大 熊 光 子 イギリスの相棒たち (談話室) 116- 5
- 大 塚 千紗子 姪洩なる慈母—『日本霊異記』下巻第十六縁考— 116-10
- 大 道 晴 香 マス・メディアのまなざしと自己表象の再編
—「自文化」としての〈恐山信仰〉をめぐる—
(特集 現代日本社会と宗教) 116-11
- 大和久 勝 気にかかる道德教育の行方 (談話室) 116- 2
- 小 川 直 之 折口信夫「万葉集絵物語」の未掲載稿 (資料紹介)
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 小 川 直 之 万葉集と隣接科学 (座談会)
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 小 川 靖 彦 山上憶良晩年の三部作における〈言志〉
—「沈痾自哀文」「悲歎俗道假合即離易去難留詩一首并序」
「老身重病經年辛苦及思兒歌七首」における自己—
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 小 野 泰 央 葛西因是『通俗唐詩解』における寓意 116- 9
- 尾 山 慎 現代版「絵文字」とその機能 116- 2
- 柿 沼 秀 雄 間伐体験が開く世界 (談話室) 116- 4
- 笠 間 直穂子 夏の家 (談話室) 116-12
- 梶 川 信 行 『万葉集』の渡来系氏族—梅花宴を例として—
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1

- 上石田 麗 子 『グラフィティの信念』を巡る匿名性と記名性の相克 116- 7
河 野 貴美子 『河海抄』にみる「万葉学」—漢語・漢籍との関係を中心に—
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 菊 地 義 裕 万葉集と隣接科学 (座談会)
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 木 部 暢 子 三樹陽介著『首都圏方言アクセントの基礎的研究』(書評)
116- 9
- 久 野 真 馬瀬良雄編集代表『長野方言辞典[特別版]』(紹介) 116- 6
黒 崎 浩 行 東日本大震災におけるコミュニティ復興と神社
—宮城県気仙沼市の事例から—
(特集 現代日本社会と宗教) 116-11
- 黒 澤 直 道 ナシ族のトンバ經典に見られる語気助詞について 116-10
黒 田 迪 子 ふいご祭りの伝承とその重層性について
—祭日・祭神・供物を中心に— 116- 8
- 碁 石 雅 利 中村幸弘著『和歌構文論考』(書評) 116- 8
小 林 宣 彦 律令制の成立と祭祀—出雲神郡の成立を中心に— 116- 9
近 藤 政 行 「聞く」の推定用法—今昔物語集を中心に— 116- 4
佐々木 伸 一 高見寛孝著『巫女・シャーマンと神道文化
日中の比較と地域民族誌の視角から』(書評) 116-12
- 座 安 浩 史 格助詞の後ろに付くウチナーヤマトウグチ「ガ」の用法
—石垣市方言を具体例に— (学生懸賞論文) 116- 9
塩 野 直 之 金杉武司著『解釈主義の心の哲学：合理性の観点から』(書評)
116- 6
- 菅 直 子 オウム真理教をめぐるメディア言説
—1989年10月のワイドショー—
(特集 現代日本社会と宗教) 116-11
- 菅 根 幸 裕 橋本裕之著『舞台の上の文化～まつり・民俗芸能・博物館～』
(書評) 116- 4
- 鈴 木 道 代 『万葉集』の桃花と中国文学—大伴家持の「桃李花の歌」の形成—
(創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))
116- 1
- 関 根 賢 司 中世文学の風景—宗祇・実隆を視座として— 116- 7

曹 咏 梅	万葉集と門前の歌—欄門の習俗との関わりから— (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
曹 咏 梅	万葉集と隣接科学 (座談会) (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
曹 咏 梅	辰巳正明監修、大谷歩、大塚千紗子、小野諒巳、加藤千絵美、 神宮咲希、鈴木道代、高橋俊之、室屋幸恵、森淳著 『古事記歌謡注釈 歌謡の理論から読み解く古代歌謡の全 貌』(書評)	116- 5
高 桑 恵 子	「御覧ず」の関係規定性—源氏物語における—	116- 9
高 橋 大 助	古典教育の現在性	116- 6
高 橋 裕 文	戦国期東国の用水普請と郷中談合 —武蔵・甲斐・下総・陸奥の事例に関して—	116- 5
高 松 寿 夫	万葉歌人の漢詩—安倍広庭「春日侍宴」をめぐる— (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
高 山 実 佐	矢吹省司『生きることに意味はない —「自己嫌悪」からの心理学—』(紹介)	116-12
田 口 祐 子	現代の厄年の実態と変遷—大阪の神社調査から— (特集 現代日本社会と宗教)	116-11
辰 巳 正 明	万葉集と楽府系歌辞—相聞歌から相聞四時歌へ— (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
辰 巳 正 明	万葉集と隣接科学 (座談会) (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
鉄 野 昌 弘	『万葉集』「泡沫」考 (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
寺 尾 克 成	文禄・慶長期における宇喜多氏家臣団の構造 —分限帳の分析から見る重臣層の負担—	116- 3
寺 川 眞知夫	『万葉集』の食の歌の位置 (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
寺 田 恵 子	山崎かおり著 「『古事記』大后伝承の研究」(書評)	116- 4

寺 田 史 朗	佐久間象山「望岳賦」碑と妙法寺参詣道の変遷（研究ノート）	116- 2
土 佐 朋 子	藤原宇合「悲不遇」詩の論—藤原宇合の賢者論— （創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—（二））	116- 1
土 佐 秀 里	全くわからない（談話室）	116-10
中 島 金太郎	戦前期の児童博物館思想	116-12
中 村 幸 弘	『源氏物語』の動詞「す」の読解 —ヲ格+ニ格+「す」構文への注目—	116- 6
中 村 幸 弘	例示の副助詞「など」によって起用された補助動詞「す」について	116-12
長 屋 晃 一	イメージの解放 —ヴァーグナー《さまよえるオランダ人》における肖像の問題—	116- 8
蜂 矢 真 弓	形容詞被覆形ムナ〔空〕・露出形ムナシ〔空〕による 名詞複合用法の通時的変遷	116- 3
蜂 矢 真 弓	連体助詞ナ形骸化	116-12
花 部 英 雄	西行と遊行聖—熊本県小国町の西行伝説を中心に—	116- 8
林 利 久	時代は情報化社会？（談話室）	116- 6
日 高 貢一郎	「一見反対語」を考える～「出る・入る」を例として～	116- 8
平 藤 喜久子	神と出会う・神を描く—ポップカルチャーにみる伝統と現代— （特集 現代日本社会と宗教）	116-11
廣 田 律 子	儀礼における歌書の読誦 —湖南省藍山県ヤオ族還家愿儀礼に行なわれる歌問答— （創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗—（二））	116- 1
藤 井 麻 央	制度化過程の初期新宗教—金光教の布教論に着目して— （特集 現代日本社会と宗教）	116-11
藤 澤 紫	日本美術における「美人画」の展開 —「飛鳥美人」から江戸の幽霊画まで—	116- 3
冬 月 律	過疎地域の神社神道の現状と課題 —高知県の過疎集落神社を事例に— （特集 現代日本社会と宗教）	116-11
古 山 美 佳	携帯電話に於ける怪異の一考察—『着信アリ』を事例として— （特集 現代日本社会と宗教）	116-11
堀 川 宗一郎	日蓮真蹟遺文における表記—「ん」を中心に—	116- 4

松 下 哲 也	ヘンリー・フュースリの「詩的模倣」における感情表現	116- 7
松 村 一 男	井上順孝編『21 世紀の宗教研究 —脳科学・進化生物学と宗教学の接点』（紹介）	116-10
矢 島 昂	鳥の名前（談話室）	116- 8
矢 部 健太郎	「秀次事件」騒動、その後（談話室）	116- 9
山 岡 敬 和	醜女・産女・橋姫の考察	116- 2
山 口 敦 史	『日本霊異記』と『金剛般若経集験記』 —経典の持つ「力」をめぐる— (創刊一二〇周年記念特集 万葉集—文学・歴史・民俗— (二))	116- 1
大 和 友大朗	雑誌記事における明治神宮・清正井のパワースポット化の過程 (特集 現代日本社会と宗教)	116-11
山 本 夏 希	『源氏物語』「陽成院の御笛」考 —准拠とそのもたらすもの— (学生懸賞論文)	116- 9
米 屋 陽 一	花部英雄編著『雪国の女語り 佐藤ミヨキの昔話世界』（紹介）	116- 3
李 広 志 大 石 泰 夫	中国寧波市周辺の獅子舞	116- 8